

植田川クリーンサークル

①

＜設立までの経過＞

②

＜沿革＞

③

＜受賞と今後の活動＞

① <設立までの経過>

愛知万博開催の1年前の平成16年、「街を綺麗にして、世界からのお客様を迎えよう。」のスローガンの下、前会長 安達民義氏が、名東区の南を流れる「私たちの植田川」の清掃活動を企画しました。身近な植田川は、地域の人々の生活と共にあり、思い出と、心の潤いと癒しを与えてくれますが、色々なごみで汚れており、この機会に地域の人々による、ボランティア活動を呼びかけました。名東区役所、名東土木事務所、名東環境事務所、名東警察署とも相談し、高針学区、貴船学区、名東学区の連絡協議会に働きかけ、同年11月27日3学区の清掃活動が行われました。

平成17年3月16日、この活動を継続するために、「植田川クリーンサークル」として立ち上げ、加藤鐘男会長、安達民義事務局として会則を制定し、名古屋市に設立届を提出しました。

毎年9月に「植田川クリーンサークル運営委員会」を開催し、計画・実行と反省、及び委員メンバーの新旧交代などの会議を実施。

<沿 革>

その1

- ① 平成16年11月27日(土) 清掃活動は、3学区の町内会を中心に、子供会も参加し、総勢70名。タイヤ、冷蔵庫、自転車などの大型ごみをはじめ、空き缶、ペットボトル、レジ袋など、想像以上のごみでした。
- ② 平成17年3月16日「植田川クリーンサークル」(URCC)を設立。
- ③ 平成17年以降、11月第1or第2土曜日10時～11時に開催し実施できない場合は翌週実施。
- ④ 平成17年11月5日(土)70名参加、自転車、洋傘、など 120袋
回収
- ⑤ 平成18年11月11日(土)名東区安心・安全まちづくり部会からも参加者募集の協力を得る。
- ⑥ 平成19年7月26日～8月末 名東区役所1fロビーに「植田川の生き物 & 清掃活動」のパネルを展示

<沿革>

その2

- ⑦ 平成19年11月10日（土）清掃活動70名参加 毎月川の巡回と生き物調査実施。
- ⑧ 平成20年11月～平成30年11月 清掃活動継続。川の巡回と生き物調査継続実施。
参加者 H17年70名→ H23年130名 → H25年 120名→ H27年150名 H29年200名 → H30年200名
大型のゴミは、減ったものの、特にレジ袋が相変わらず多い。川の中に生えた多数の樹木が大きくなり、その枝に紙やレジ袋が引っ掛かって景観をそこねています。
樹木の除去を名東土木事務所に依頼中。
- ⑨ 平成22年8月めいとうかえるプロジェクト「植田川ワークショップ」開催
- ⑩ 「植田川かわらばん」竣工式 和太鼓ハーモニカ演奏 ゲームなどの催し物実施。

<沿革>

その3

- ⑪ エコフェスタ名東2012 平成24年8月8日（水）に植田川クリーンサークル参加
H24年～平成30年 「エコフェスタ名東」に植田川クリーンサークル継続参加
植田川の生き物の写真をパネルにし、花や、魚、鳥、亀や、カエルなどが植田川には多くの生き物が生息していることを知り、川に興味を持ってもらうためにエコフェスタに参加。
- ⑫ 平成24年 会長 加藤鐘男→安達民義 事務局 安達民義→桑山賢治
- ⑬ 平成29年 会長 安達民義→加藤 誓
- ⑭ 平成30年3月26日（月） 「名古屋都市美化連盟会長感謝状」受賞
- ⑮ 令和元年6月12日（水） 「地域環境美化功績者環境大臣賞表彰」受賞

<受賞と今後の活動>

上記受賞は、「これからの更なる活動」に対するものでもあります。心に潤いと癒しを与えてくれる「私たちの植田川」を、もっともっと良くするために、「年1回の川の中の清掃活動」の再考はもとより、頻繁に行える川の両岸の美化活動（ナデシコなどの花活動・ペットの糞や、ポイ捨てゴミの改善など）をどの様な方法でやれば、無理なく、長続きできるか。また、多くの方が、植田川を「朝、夕の散歩コース」として利用されています。この方たちにも参加して頂ける方法はないか。できれば、ゴミの清掃より、ゴミを捨てない意識向上を考えたい。綺麗な状態のところには、ゴミは、捨て難いものです。

じっくり、「植田川クリーンサークル運営委員会」で検討し、実行へと繋げて行きたい。

また、今まで以上、名東区役所、名東土木事務所、名東環境事務所、各学区連絡協議会、町内会のお力添えを頂きたくお願い申し上げます。